



2021年8月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年10月14日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 久典

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

定時株主総会開催予定日 2021年11月25日

配当支払開始予定日

2021年11月26日

有価証券報告書提出予定日 2021年11月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の業績(2020年9月1日～2021年8月31日)

(1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	1,500	0.2	312	11.2	356	26.4	475	152.0
2020年8月期	1,503	17.0	281	15.2	282	17.8	188	17.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	221.29		10.9	6.0	20.8
2020年8月期	87.82		4.6	4.5	18.7

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 百万円 2020年8月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	5,696	4,583	80.5	2,133.18
2020年8月期	6,186	4,161	67.3	1,936.87

(参考) 自己資本 2021年8月期 4,583百万円 2020年8月期 4,161百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	280	623	867	161
2020年8月期				

(注) 2020年8月期は連結業績を開示していましたが、当第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年8月期のキャッシュ・フローの状況については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期		12.50		12.50	25.00	53	26.3	1.3
2021年8月期		12.50		37.50	50.00	107	22.6	2.5
2022年8月期(予想)		20.00		20.00	40.00		49.4	

2021年8月期期末配当金の内訳 普通配当12円50銭 創業50周年 記念配当25円00銭

なお、詳細につきましては、2021年4月14日に公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正(創業50周年記念配当)に関するお知らせ」を参照ください。

3. 2022年8月期の業績予想(2021年9月1日～2022年8月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	755	3.3	137	17.4	138	25.0	91	76.8	42.49
通期	1,510	0.7	250	19.8	263	26.2	173	63.4	80.92

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期	2,901,000 株	2020年8月期	2,901,000 株
期末自己株式数	2021年8月期	752,260 株	2020年8月期	752,192 株
期中平均株式数	2021年8月期	2,148,798 株	2020年8月期	2,148,808 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
(6) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(追加情報)	14
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に対する各種施策の効果により、持ち直しの動きが見られるものの、感染症拡大に関しては、未だに収束が見通せない厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社の服飾事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛や新しい生活様式をもたらす消費行動の変化によって、実店舗での業績は厳しい状況で推移しましたが、通信販売やテレビショッピングにおいては、引き続き拡大傾向となりました。また、賃貸・倉庫事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は軽微で堅調に推移することとなりました。

その結果、当事業年度の業績は、売上高は1,500,645千円（前年同期比0.2%の減少）、営業利益は312,830千円（前年同期比11.2%の増加）、経常利益は356,954千円（前年同期比26.4%の増加）、当期純利益は475,504千円（前年同期比152.0%の増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

なお当社は、2020年12月1日付で完全子会社であるオーアンドケイ株式会社を吸収合併いたしました。当合併により個別決算による開示となりました。そのため、前事業年度のセグメント情報を作成していないことから、前事業年度との比較は記載しておりません。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による消費の落ち込みにより、業績への影響は受けておりますが、販売体制の見直し、コストダウンの推進、販売品目の整理等で収益体質の改善が引き続き進んでおります。

その結果、売上高は531,476千円、営業損失は14,371千円となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は軽微で業績は安定して推移しました。その結果、売上高は969,169千円、営業利益は327,201千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて107,070千円減少し、512,300千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が52,313千円増加し、売掛金が77,327千円、商品及び製品が97,030千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて383,180千円減少し、5,183,705千円となりました。この主な要因は、土地が237,465千円、建物が113,292千円、機械及び装置が37,819千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて497,715千円減少し527,073千円となりました。この主な要因は、短期借入金が500,000千円、一年以内返済予定の長期借入金が61,750千円減少し、圧縮未決算特別勘定が69,547千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて414,224千円減少し、585,291千円となりました。この主な要因は、長期借入金が228,600千円、役員退職慰労引当金が193,766千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて421,689千円増加し、4,583,641千円となりました。この主な要因は、当期純利益を475,504千円計上したものの、配当による減少53,720千円があったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローを280,479千円確保し、投資活動によるキャッシュ・フローは623,865千円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは867,167千円の支出となったことなどにより、161,504千円となりました。

また、当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期利益544,980千円、減価償却費240,421千円等により、当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは280,479千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による14,914千円の支出、有形固定資産の売却による640,140千円の収入等により当事業年度の投資活動によるキャッシュ・フローは623,865千円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の返済500,000千円および長期借入金の返済313,350千円等により当事業年度の財務活動によるキャッシュ・フローは867,167千円の支出となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年8月期
自己資本比率	80.5
時価ベースの自己資本比率	51.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	204.7

(注) 1. 時価ベースの自己資本比率は、株式時価総額／総資産により算出しております。

2. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

3. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

4. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

5. 2020年8月期までは連結業績を開示しておりましたが、2021年8月期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年8月期以前のキャッシュ・フロー計算書を作成していないことから、キャッシュ・フロー関連指標については記載しておりません。

(4) 今後の見通し

2021年8月期では新型コロナウイルスの感染拡大による国内消費減退などにより、我が国経済の事業環境に多大な影響を与えました。2022年8月期においても、事業環境の動静は、現時点では極めて不透明な状況となっております。

このような状況下、比較的堅調である賃貸・倉庫事業において、更なる業容拡大を図るため、大阪府泉北郡忠岡町および岸和田市において大型物流施設「カワサキテクノプラザ」の開発に着手いたしました。着工は2022年3月、竣工は2023年3月の予定となっており、開発にかかる経費等（土地賃借料見込額約150,000千円）について2022年8月期の業績予想に織り込んでおります。

これにより、2022年8月期の業績予想につきましては、売上高1,510,000千円（前期比0.7%増）、経常利益263,445千円（前期比26.2%減）、当期純利益173,874千円（前期比63.4%減）を見込んでおります。

新規案件については、本日公表しました「大型物流施設「カワサキテクノプラザ」の開発着手について」をご覧ください。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

(6) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益配分と継続的な企業発展を経営の最重要課題と認識しており、株主還元、適切なレバレッジ、成長資金の確保の最適なバランスを念頭に、株主総還元を判断していく考えであります。

なお、当期の配当金につきましては、期末配当金を1株当たり37円50銭（記念配当25円含む）とし、次期の配当金については、中間配当金20円、期末配当金20円で年間40円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	109,191	161,504
受取手形	154	-
売掛金	105,636	28,309
営業未収入金	12,046	9,794
商品及び製品	332,286	235,256
原材料及び貯蔵品	41,390	34,902
前渡金	1,375	25,436
前払費用	18,009	17,647
その他	1,214	6
貸倒引当金	△1,936	△557
流動資産合計	619,370	512,300
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,453,258	4,616,091
減価償却累計額	△2,456,359	△2,732,484
建物(純額)	1,996,899	1,883,607
構築物	216,607	216,607
減価償却累計額	△106,920	△119,111
構築物(純額)	109,687	97,495
機械及び装置	414,483	414,483
減価償却累計額	△97,457	△135,277
機械及び装置(純額)	317,025	279,205
車両運搬具	43,635	44,769
減価償却累計額	△42,656	△43,077
車両運搬具(純額)	979	1,691
工具、器具及び備品	183,870	193,430
減価償却累計額	△177,075	△180,393
工具、器具及び備品(純額)	6,795	13,036
土地	2,888,267	2,650,802
建設仮勘定	-	4,327
有形固定資産合計	5,319,654	4,930,166
無形固定資産		
ソフトウェア	22,383	14,279
その他	5,074	5,074
無形固定資産合計	27,458	19,354
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	-
出資金	314	325
破産更生債権等	1,336	-
長期前払費用	2,455	271
敷金及び保証金	135,666	140,426
繰延税金資産	71,338	93,162
貸倒引当金	△1,336	-
投資その他の資産合計	219,774	234,185
固定資産合計	5,566,886	5,183,705
資産合計	6,186,257	5,696,006

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,624	3,294
短期借入金	500,000	-
1年内返済予定の長期借入金	297,600	235,850
未払金	31,114	39,954
未払費用	41,092	39,816
未払法人税等	44,039	36,370
未払消費税等	24,415	16,914
前受金	80,635	82,381
預り金	2,053	1,156
賞与引当金	1,212	1,789
圧縮未決算特別勘定	-	69,547
流動負債合計	1,024,789	527,073
固定負債		
長期借入金	359,590	130,990
役員退職慰労引当金	206,283	12,516
受入保証金	205,972	212,972
資産除去債務	221,142	222,284
その他	6,528	6,528
固定負債合計	999,516	585,291
負債合計	2,024,305	1,112,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	4,300
資本剰余金		
資本準備金	465,937	465,937
その他資本剰余金	-	560,000
資本剰余金合計	465,937	1,025,937
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,450,000	2,450,000
繰越利益剰余金	1,131,836	1,553,620
利益剰余金合計	3,606,836	4,028,620
自己株式	△475,121	△475,216
株主資本合計	4,161,952	4,583,641
純資産合計	4,161,952	4,583,641
負債純資産合計	6,186,257	5,696,006

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高		
製品売上高	533,331	531,476
賃貸事業収入	970,420	969,169
売上高合計	1,503,751	1,500,645
売上原価		
製品売上原価	317,328	291,602
賃貸事業原価	477,029	493,808
売上原価合計	794,358	785,410
売上総利益	709,393	715,235
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	23,539	22,344
役員報酬	53,983	56,710
給料及び賞与	164,046	159,955
貸倒引当金繰入額	925	△1,732
賞与引当金繰入額	1,212	1,789
退職給付費用	2,742	2,265
役員退職慰労引当金繰入額	5,000	4,900
法定福利費	26,094	24,190
賃借料	27,230	26,821
減価償却費	20,983	19,139
その他	102,335	86,022
販売費及び一般管理費合計	428,094	402,405
営業利益	281,298	312,830
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	2,585	30,483
スクラップ売却益	88	13,437
その他	1,202	1,743
営業外収益合計	3,876	45,664
営業外費用		
支払利息	2,356	1,477
為替差損	269	57
その他	56	5
営業外費用合計	2,682	1,540
経常利益	282,492	356,954

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
特別利益		
受取保険金	3,671	-
固定資産売却益	-	240,539
抱合せ株式消滅差益	-	122,915
特別利益合計	3,671	363,454
特別損失		
固定資産除却損	-	3,525
店舗閉鎖損失	-	3,022
圧縮未決算特別勘定繰入額	-	69,547
役員退職慰労金	-	99,333
特別損失合計	-	175,429
税引前当期純利益	286,163	544,980
法人税、住民税及び事業税	102,024	90,143
法人税等調整額	△4,577	△20,667
法人税等合計	97,446	69,476
当期純利益	188,716	475,504

(3) 株主資本等変動計算書

前会計年度(自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	564,300	465,937	-	465,937	25,000	2,450,000	996,839	3,471,839
当期変動額								
減資								
剰余金の配当							△53,720	△53,720
当期純利益							188,716	188,716
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	134,996	134,996
当期末残高	564,300	465,937	-	465,937	25,000	2,450,000	1,131,836	3,606,836

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△475,121	4,026,955	4,026,955
当期変動額			
減資			-
剰余金の配当		△53,720	△53,720
当期純利益		188,716	188,716
自己株式の取得			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			-
当期変動額合計	-	134,996	134,996
当期末残高	△475,121	4,161,952	4,161,952

当会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	564,300	465,937	-	465,937	25,000	2,450,000	1,131,836	3,606,836
当期変動額								
減資	△560,000		560,000	560,000				
剰余金の配当							△53,720	△53,720
当期純利益							475,504	475,504
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	△560,000	-	560,000	560,000	-	-	421,784	421,784
当期末残高	4,300	465,937	560,000	1,025,937	25,000	2,450,000	1,553,620	4,028,620

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△475,121	4,161,952	4,161,952
当期変動額			
減資		-	-
剰余金の配当		△53,720	△53,720
当期純利益		475,504	475,504
自己株式の取得	△95	△95	△95
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			-
当期変動額合計	△95	421,689	421,689
当期末残高	△475,216	4,583,641	4,583,641

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	544,980
減価償却費	240,421
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,714
賞与引当金の増減額 (△は減少)	576
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△193,766
受取利息及び受取配当金	0
支払利息	1,477
固定資産除却損	0
為替差損益 (△は益)	15
固定資産売却損益 (△は益)	△240,528
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	△122,915
圧縮未決算特別勘定繰入額	69,547
売上債権の増減額 (△は増加)	6,514
たな卸資産の増減額 (△は増加)	103,518
仕入債務の増減額 (△は減少)	649
その他	△37,660
小計	370,117
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△1,370
法人税等の支払額	△88,266
営業活動によるキャッシュ・フロー	280,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△14,914
有形固定資産の売却による収入	640,140
その他	△1,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	623,865
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500,000
長期借入金の返済による支出	△313,350
自己株式の取得による支出	△95
配当金の支払額	△53,722
財務活動によるキャッシュ・フロー	△867,167
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	37,161
現金及び現金同等物の期首残高	109,191
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	15,151
現金及び現金同等物の期末残高	161,504

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(損益計算書関係)

前事業年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「スクラップ売却益」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた1,290千円は、「スクラップ売却益」88千円、「その他」1,202千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、財務情報に基づき、事業の種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

従って、当社は事業の種類に基づき、「服飾事業」、「賃貸・倉庫事業」を報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

服飾事業……………シェニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品

賃貸・倉庫事業……不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業、太陽光発電事業

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	財務諸表 計上額
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	531,476	969,169	1,500,645	-	1,500,645
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	531,476	969,169	1,500,645	-	1,500,645
セグメント利益又は損失(△) (注) 2	△14,371	327,201	312,830	-	312,830
セグメント資産	481,827	4,688,254	5,170,082	525,923	5,696,006
その他の項目					
減価償却費	8,924	221,897	230,821	9,599	240,421
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,191	236,416	237,607	4,833	242,441

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント資産の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に余剰運用資金(現金及び預金)及び管理部門に係る資産等であります。

(2)減価償却費の調整額は、主に全社資産の減価償却費であります。

2 セグメント利益の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。

(関連情報)

当事業年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、ワクチン接種率の上昇に伴い感染者数が減少してきたこと等により、2021年10月より全国的に緊急事態宣言等の解除がなされたものの、今後の人流増加等により感染者数が再拡大する懸念があり、依然として予断を許さない状況が続いているものと考えております。

今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にありますが、2022年8月期の一定期間にわたり影響が継続すると仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(1株当たり情報)

	当会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	2,133.18円
1株当たり当期純利益金額	221.29円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純利益金額	
当期純利益(千円)	475,504
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	475,504
普通株式の期中平均株式数(株)	2,148,798
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—

1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当会計年度 (2021年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,583,641
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,583,641
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,148,740

(重要な後発事象)

該当事項はありません。